

2024年7月8日

## 中部国際空港施設およびCIQ見学会レポート

JATA 中部支部

事務局長 星野 道佳

JATA中部支部では、中部国際空港の施設および最新の入国時 CIQ 導線や審査方法、所要時間などを会員が体感するために、中部国際空港株式会社様の全面的なご協力のもと、下記内容で、視察会を実施しました。

日時 : 2024年7月5日(金) 13:00~15:30

参加者: JATA 会員会社13社21名、中部事務局2名 合計23名

東武トップツアーズ、アイ・ツーリスト、阪急交通社、日本旅行、中部キャラバン、JTB、日本航空  
ジェイアール東海ツアーズ、ジョットツーリスト、エヌオーイー、アトコ、遠州鉄道、  
名鉄観光サービス、(敬称略)

協力 : 中部国際空港(株)・名古屋検疫所中部国際空港検疫所支所、名古屋税関中部空港  
税関支署・出入国在留管理庁名古屋出入国在留管理局

### 【スケジュール】

12:50 アクセスプラザ 1F 総合案内所前 集合

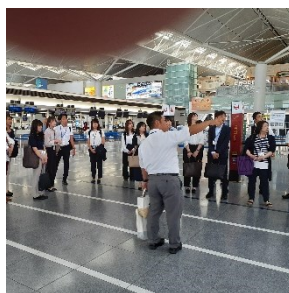
13:00~14:00 1階団体集合場所、バス到着場所 ➡ 2階国内線、国際線到着ロビー ➡  
3階国際線、国内線チェックインカウンター ➡ 特別待合室 A-1(荷物預け)  
➡ 制限エリア(入国)へ

14:00~15:00 制限エリア(入国): 検疫(係員説明) ➡ 入国管理(顔認証ゲート説明) ➡  
税関(電子申告など係員説明)

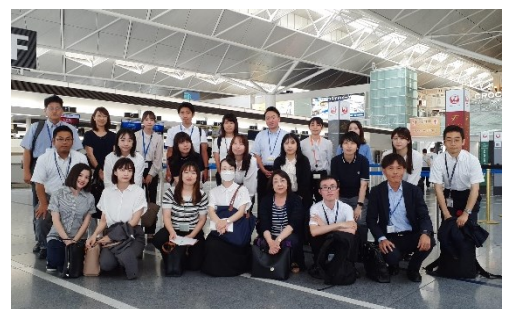
15:00~15:15 A-1 特別待合室(荷物受取) ➡ 4階スカイタウンにて説明後解散



集合時星野事務局長より挨拶



今枝様の説明



参加者集合写真

### ◆コメント

中部国際空港施設見学では、航空営業部今枝様の誘導で国内線チェックインカウンター等のリニューアル、主要なポイントを丁寧に説明いただきました。検疫では、旅行会社として感染症予防に対する理解や対応の重要性を認識しました。入国審査では、顔認証、自動化ゲートの説明、税関では、電子申告・ゲートだけでなく、お土産の免税範囲についても再確認しました。今後も各部門でデジタル化が進み、空港での待ち時間の短縮が進んでいくと感じました。参加者からは、活発に質問も頂き、有意義な研修となりました。これからも、フライセントレアを意識し、復便を増やし、アウトバウンド復活のため研修の機会を作っていきます。